安全データシート

この安全データシート は以下の要件に準拠し ている :
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 09-4-2026 **改訂番号** 1.01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Iron AA Standard: 1000 µg/mL Fe in 5% HNO3 [100ml bottle]

製品コード 5190-8285

登録番号 情報なし

安全データシート の供給者の詳細

供給者

アジレント ・テクノ ロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: 0800-300-5842

電子メールアド レス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準。 この製品は研究開発専用です。

推奨さ れない用途 推奨用途以外では使用し ないでく ださい

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分に該当し ない
急性毒性(経皮)	区分に該当し ない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当し ない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当し ない
急性毒性(吸入) - 粉じ ん／ミ スト	区分に該当し ない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介し た影響	授乳に対する又は授乳を介し た影響は

	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	区分に該当し ない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	区分 2
区分 2 呼吸器、 歯。	
誤えん有害性	区分に該当し ない
水生環境有害性 - 急性	区分に該当し ない
水生環境有害性 - 慢性	区分に該当し ない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
長期にわたる、又は反復ばく 露による臓器の障害のおそれ
金属腐食のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく 露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器、 歯。

注意書き

安全対策

• 取扱い後は顔、手、露出し た皮膚をよく 洗う こと
• 粉じ んを吸入し ないこと
• 他の容器に移し 替えないこと
• 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること

応急措置

• 気分が悪いときは, 医師の診察／手当てを受けること
• 眼に入った場合: 水で数分間注意深く 洗う こと。次にコンタクト レンズを着用し ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
• 直ちに医師に連絡すること
• 皮膚に付着し た場合: 多量の水と 石けん(鹸)で洗う こと
• 皮膚刺激が生じ た場合: 医師の診察／手当てを受けること
• 汚染さ れた衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
• 物的被害を防止するためにも 流出し たものを吸収すること

保管

• 耐腐食性／耐腐食性内張り のある容器に保管すること

廃棄
• 内容物、容器を 国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って 廃棄すること

他の危険有害性

情報なし 。

3. 組成及び成分情報

化学物質･混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
硝酸	7697-37-2	4.5	既存	(1)-394	既存	(1)-394

追加情報

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当し ない

労働安全衛生法
通知対象物質
法第5 7 条の2 、施行令第1 8 条の2 第1 号、第2 号別表第9 及び第3 号別表第3

表示対象物質
法第5 7 条第1 項、施行令第1 8 条第1 号、第2 号別表第9 及び第3 号別表第3

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
硝酸	7697-37-2	表示対象物質	9-307	4.5

毒物及び劇物取締法 該当し ない

4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を 行う 医師にこのSDSを 示すこと 。 直ちに 医師の手当てを 受ける必要がある。

吸入し た場合 空気の新鮮な 場所に 移すこと 。 症状が出た場合には、直ちに 医師の手当てをう けること 。

皮膚に付着し た場合	直ちに石けん(鹸)と 多量の水で少なく とも15分間洗い落とすこと。 刺激が生じ て長引く ときは、医師の手当てをう けること。
眼に入った場合	直ちに少なく とも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクト レンズを着用し ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 洗っている間は眼を大きく 広げたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 直ちに医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から 与えてはならない。 無理に吐かせないこと。 医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も 重要な徴候症状	灼熱感。 失明を引き起こすおそれがある。 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。 紅斑(皮膚の発赤)。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	皮膚、眼又は衣類と の接触を避けること。 個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じ て治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適し た消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱さ せないこと。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法 **大規模火災**	水噴霧でド ラムを冷却すること。 警告: 放水では十分な消火の効果が得ら れない場合がある。
消火活動を行う 者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う 者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用し なければならない。 個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼又は衣類と の接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。
緊急対応を行う 者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるなら ば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるなら ば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法

せき止めること。 不活性吸収材料で吸収すること。 回収して適切に表示された容器に移すこと。 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 保護眼鏡、不浸透性の保護衣、手袋及び／又は長靴を着用すること。

衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩前及び作業後に手を洗うこと。 適切な手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。 機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。

保管

安全な保管条件

特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。 保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 湿気を遮断すること。 施錠して保管すること。 子供の手の届かない場所に保管すること。 他の物質から隔離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
硝酸 7697-37-2	TWA: 2 ppm; TWA: 5.2 mg/m^3;	-	TWA: 2 ppm STEL: 4 ppm

生物学的許容値

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない

環境ばく 露防止 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入さ せないこと。

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸用保護具は、この製品の化学的性質、危険有害性及び使用法、ならびに現地当局の安全要件に従って選択し 、使用し なければならない。

手の保護具 ネオプレン™製の保護手袋を着用すること。 使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準(EU) 2016/425。 適切な手袋を着用すること。 不浸透性手袋。

眼及び／又は顔面の保護具 眼に入らないよう にする。 サイド シールド 付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 顔面保護シールド 。 密封性の高い安全ゴーグル。 適切な眼保護具を使用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。 長袖の衣類。 不浸透性衣類。 耐薬品性エプロン。 不浸透性の保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体
物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いのしきい値	情報なし

特性	**値**	**備考 • 方法**
融点／凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし

水への溶解度	情報なし
溶解度	情報なし
n ーオクタノ ール／水分配係数(log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
相対ガス密度	情報なし
相対密度	情報なし
粒子特性	
粒径	該当し ない
粒径分布	該当し ない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化性	情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし 。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。
避けるべき条件	長期間にわたる空気又は湿気へのばく 露。
混触危険物質	酸化剤。 強酸。 強塩基。
危険有害な分解生成物	提供さ れた情報に基づき 知見なし 。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし 。
機械的衝撃に対する感度	なし 。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

混合物のATE値は下記のとおり 算出さ れている

ATEmix(経口)	99,999.00	mg/kg
ATEmix(経皮)	99,999.00	mg/kg
ATEmix(吸入 −ガス)	99,999.00	ppm
ATEmix(吸入 −粉じん／ミ スト)	99,999.00	mg/L

ATEmix(吸入 −蒸気) 58.90 mg/L

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
硝酸	-	-	= 2500 ppm (Rat) 1 h ATE (vapours) = 2.65 mg/L

略語及び頭文字
Rat: ラット

症状 咳及び／又は喘鳴。 呼吸困難。 発赤。 灼熱感。 失明を引き起こすおそれがある。 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データ はない。 飲み込むと 胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を 引き起こすおそれがある。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データ はない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データ はない。 皮膚刺激。（成分に基づく ）。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データ はない。 失明を 含む非可逆性の損傷を 引き起こすおそれがある。 重篤な眼の損傷。

皮膚腐食性／刺激性 成分に対し て利用可能なデータ に基づく 分類。 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 成分に対し て利用可能なデータ に基づく 分類。 薬傷を 引き起こす。 重篤な眼の損傷。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータ に基づき 、分類基準を 満たさない。 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータ に基づき 、分類基準を 満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータ に基づき 、分類基準を 満たさない。 分類できない。

下表は各機関が何ら かの成分を 発がん性とし て記載し ているかを 示す。

生殖毒性 利用可能なデータ に基づき 、分類基準を 満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当し ない。

特定標的臓器毒性(反復ばく 露) 長期にわたる、又は反復ばく 露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく 露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器、 歯。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当し ない。

12. 環境影響情報

生態毒性 区分に該当し ない。

残留性・分解性 情報なし 。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
硝酸 7697-37-2	-2.3

他の有害影響 情報なし 。

この製品は、既知の内分泌かく 乱物質又は内分泌かく 乱が疑われる物質を一切含有し ていない。

化学名又は一般名	EU－REACH(1907/2006)－第59 条(1)－高懸念物質の認可対象候補物質リ スト	EU－REACH(1907/2006)－内分泌かく 乱作用評価対象物質リ スト	内分泌かく 乱の可能性
硝酸	-	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用し ないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
海洋汚染物質に該当するかの特定	NP F-A S-B
特別条項	223, 274

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコード によるばら 積み輸送さ れる 液体物質
情報なし

ADR

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III, (E)
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
特別条項	274

IATA

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
特別条項	A3, A803
ERG コード	8L

国内規則
項目15を 参照。 消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する 場合はそれぞれの規定に従う 。

日本

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当し ない
労働安全衛生法

製造禁止物質等
該当し ない
製造許可物質等
該当し ない
特定化学物質等(特化則)
特定化学物質(第3類物質)ー労働安全衛生法施行令別表第3(第6条、第9-3条、第21条、第22条関係、及び特定化学物質障害予防規則)
有機溶剤中毒予防規則
該当し ない
危険物
該当し ない
鉛中毒予防規則
該当し ない
四アルキル鉛中毒予防規則
該当し ない
特別管理物質
該当し ない
表示対象物質
法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９及び第３号別表第３
通知対象物質
法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９及び第３号別表第３
労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度
該当し ない。
安衛則第３２６条に基づく 腐食性液体
硝酸
安衛法−皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく 不浸透性の保護具等の使用義務物質
特化則等
安衛法 −濃度基準値設定物質
該当し ない
有害物ばく 露作業報告
該当し ない
安衛則５７７ ー２ に基づく がん原性物質
該当し ない
強変異原性物質
該当し ない

毒物及び劇物取締法
該当し ない

高圧ガス保安法
該当し ない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当し ない

化学兵器禁止法
該当し ない

国際インベントリー

TSCA	米国インベントリー(TSCA): インベントリーに記載。 40 CFR 720.36の目的上、この製品は研究開発(R&D)目的の使用に限定される。
DSL／NDSL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
EINECS／ELINCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
化審法インベントリ	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
IECSC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AIIC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:
TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト ／非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー／欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質インベントリー
PICCS - フィリピン化学品･化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日	09-4-2026
改訂記録	SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例
凡例 8: ばく 露防止及び保護措置

TWA	TW A(時間加重平均)	天井値	最大限界値
Sk*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用し た主要参考文献及びデータ源
米国毒性物質疾病登録庁(Agency for Toxic Substances and Disease Registry, ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータ ベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)

米国環境保護庁(Environmental Protection Agency)
急性ばく 露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)の環境、保健及び安全に関する出版物
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)高生産量化学物質プログラム
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)スクリーニング情報データセット
国際連合世界保健機関(World Health Organization, WHO)

免責事項
このデーターシート は作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら 記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関し ていかなる保証をなすものではありません。。

安全データシート のおわり